



**2025年3月期
第2四半期(中間期)決算説明資料**

証券コード:5356(東証スタンダード・名証メイン)

Contents

01 会社概要

02 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算報告

03 2025年3月期 業績予想

◆ 会社概要



MISSION

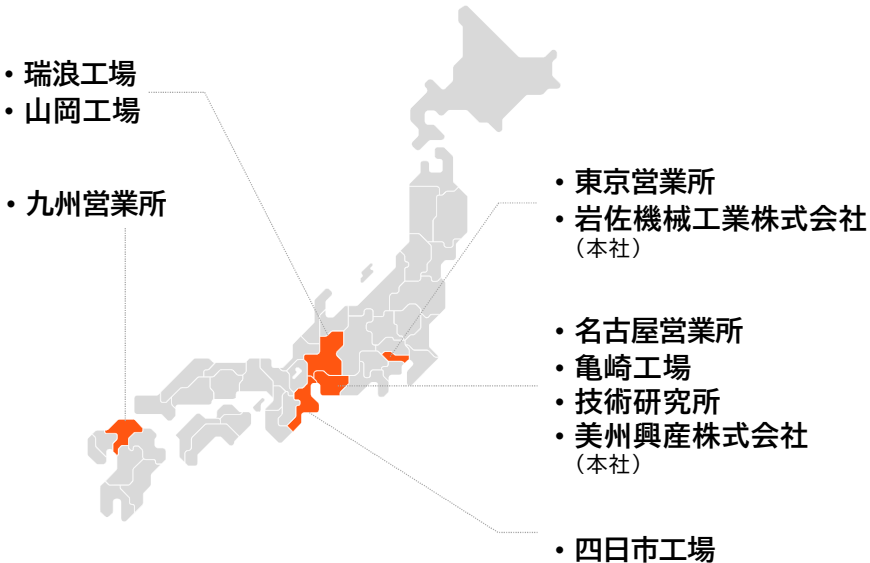
セラミックスを源流に、独自・多様な技術を磨き、社会の発展に貢献する。
一味違う強い特徴を持つ、質の高い企業グループを目指す。


社名	美濃窯業(みのようぎょう)株式会社
設立	1918(大正7)年 8月14日
資本金	8億7,700万円
社長	太田 滋俊
従業員数	連結339名 単体271名

美濃窯業 グループ 事業内容	耐火物事業	
	プラント事業	
	建材及び 舗装用材事業	

所在地

本社: 岐阜県瑞浪市寺河戸町719
本社事務所: 愛知県名古屋市中村区名駅南1-17-28





2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算報告



売上高

72.3億円

前年同期比 +4.2%

営業利益

7.1億円

前年同期比 +32.6%

親会社株主に帰属する
中間純利益

5.3億円

前年同期比 +29.4%



外部環境

内部環境

- セメントの国内生産量の減少傾向が続く厳しい状況
- 半導体関連需要の回復を受け、顧客の設備投資が堅調に推移
- 設備改善や生産性の向上への取り組みの継続
- 環境に配慮した事業活動の推進
 - 亀崎工場における使用燃料を重油からLNGへの切り替えを推進
 - 経済産業省による事業者クラス分け評価制度で5年連続Sクラス評価を獲得(省エネ法)

◆ 連結決算概要

2025年3月期 第2四半期(中間期)



耐火物事業は、需要の低迷も新規取引先の開拓や生産性向上への積極的な取り組みにより増収増益
 プラント事業は、工事部門が順調に推移、設備部門においても半導体関連需要の回復を受け増収増益
 建材及び舗装用材事業は増収するも、コストの増加を吸収できず減益

(百万円)

	2024年3月期 2Q実績	2025年3月期		前年同期比 (増減額)	2025年3月期 通期予想※	進捗率
		2Q実績	売上比			
売上高	6,943	7,232	—	4.2% (+289)	15,500	46.7%
営業利益	541	717	9.9%	32.6% (+176)	1,500	47.9%
経常利益	601	774	10.7%	28.7% (+172)	1,600	48.4%
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	410	531	7.3%	29.4% (+120)	1,100	48.3%
1株当たり 中間(当期)純利益	40.05円	51.79円	—	+11.74円	107.28円	—

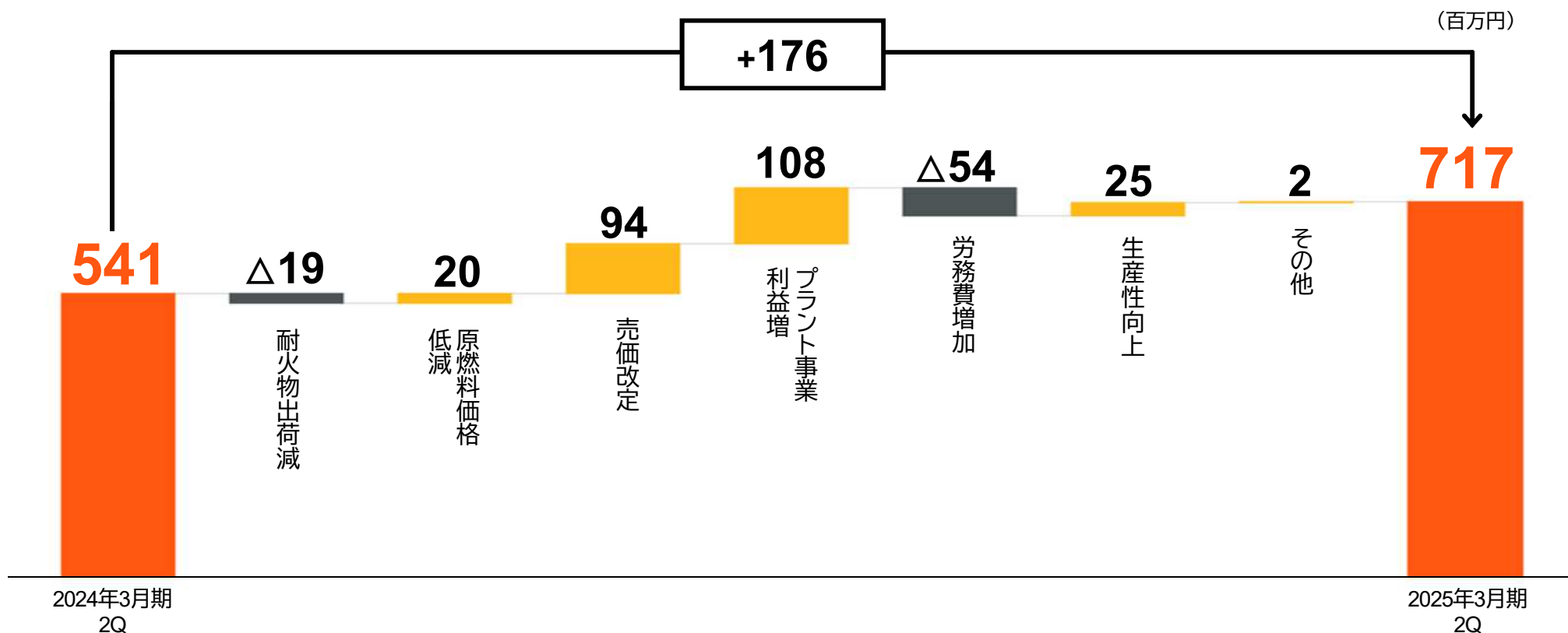
※ 2024年5月15日公表値

◆ 連結営業利益の増減分析

2025年3月期 第2四半期(中間期)



耐火物事業の耐火物需要が低迷したものの、新規取引先の開拓や生産性向上により増益
また、プラント事業は工事部門が順調に推移したことに加え、設備部門の半導体関連需要が回復し
増益となった結果、営業利益は昨年同期比で+176と増益



◆ 連結決算 セグメント別 2025年3月期 第2四半期(中間期)



耐火物事業は新規取引先の開拓や生産性向上への積極的な取り組みにより増収増益
 プラント事業は工事部門が順調に推移、設備部門においても半導体関連需要の回復により増収増益
 建材及び舗装用材事業は増収するも、コストの増加を吸収できず減益

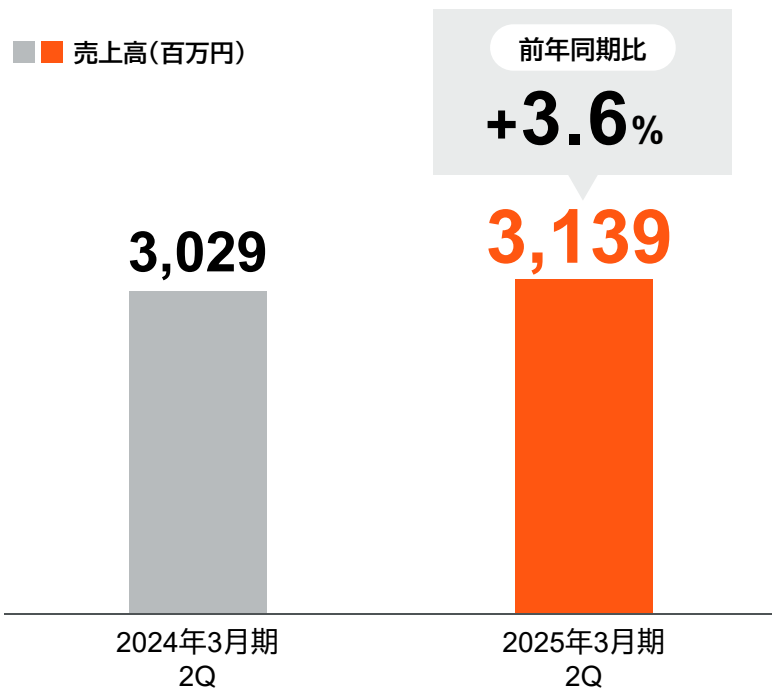
(百万円)

		2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	前年同期比	
耐火物	売上高	3,029	3,139	+109	(+3.6%)
	セグメント利益	101	200	+99	(+98.0%)
プラント	売上高	2,605	2,780	+174	(+6.7%)
	セグメント利益	280	388	+108	(+38.7%)
建材及び舗装用材	売上高	1,033	1,040	+7	(+0.7%)
	セグメント利益	46	33	△13	(△28.6%)
不動産賃貸	売上高	190	198	+7	(+4.2%)
	セグメント利益	92	94	+1	(+1.5%)
その他	売上高	83	73	△9	(△11.6%)
	セグメント利益	16	11	△5	(△30.0%)
調整額	セグメント利益	3	△11	△14	-
合計	売上高	6,943	7,232	+289	(+4.2%)
	営業利益	541	717	+176	(+32.6%)

◆ 決算概況 耐火物事業

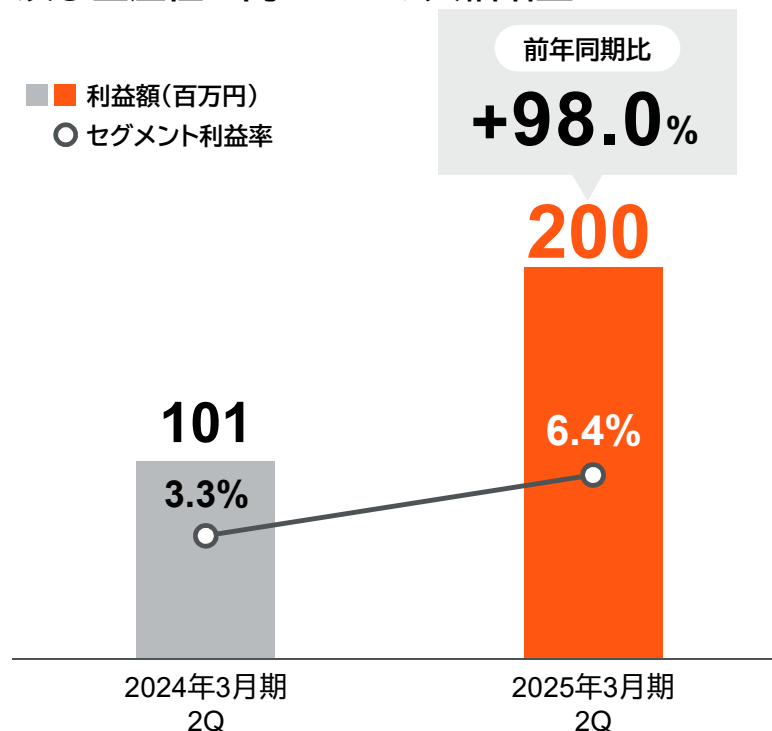
売上高

耐火物需要は低迷するも、新規取引先の開拓により増収



セグメント利益

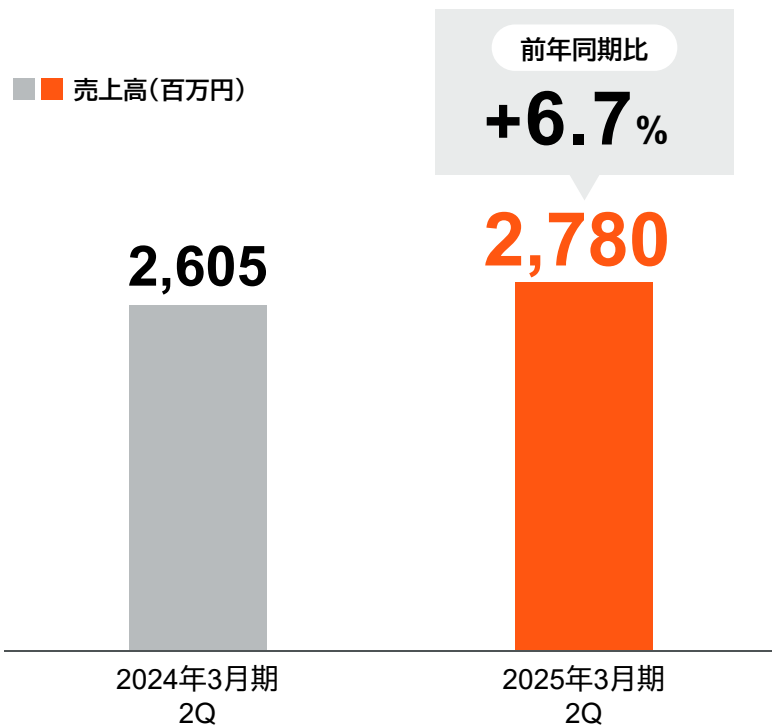
販売価格改定効果に加え、原燃料価格の低減及び生産性の向上により大幅増益



◆ 決算概況 プラント事業

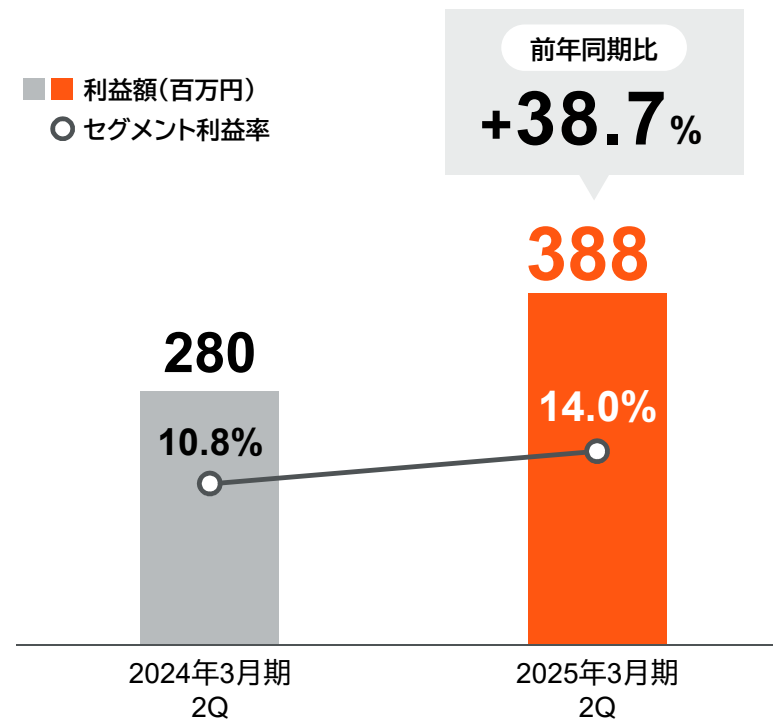
売上高

工事部門が順調に推移し、設備部門も半導体関連需要が回復し増収



セグメント利益

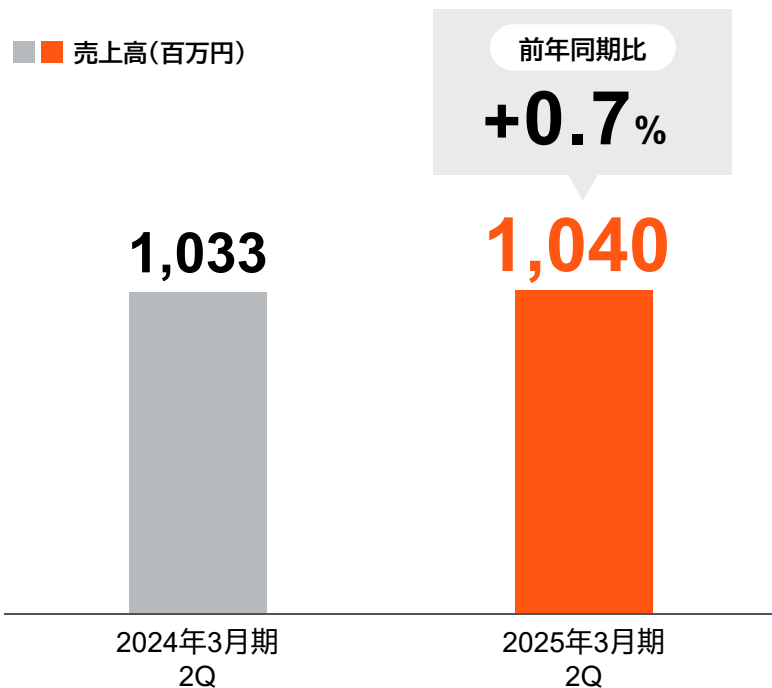
半導体関連需要回復に伴い、設備投資が好調であったことにより増益



◆ 決算概況 建材及び舗装用材事業

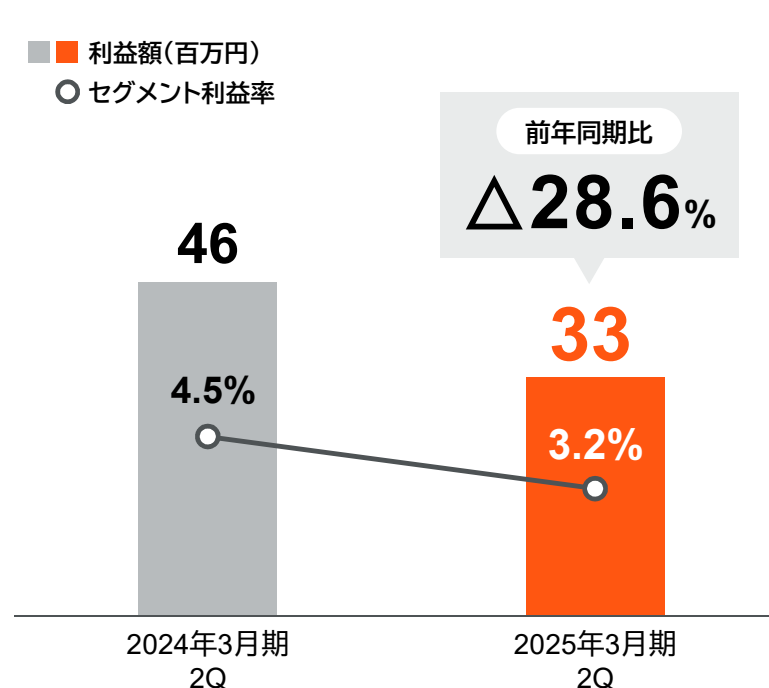
売上高

一部製品の出荷数量が低迷するも、鉄道各社向けの工事が好調であったことにより増収



セグメント利益

原材料・労務費を含むコストの増加を吸収できず減益



◆ 連結貸借対照表

- ✓ 仕入債務や賞与引当金の減少、利益剰余金の増加等により、自己資本比率は67.4%に上昇
- ✓ 健全な財務基盤を確保

(百万円)

	2024年3月末	2024年9月末	増減額	
流動資産	12,394	12,551	+156	<ul style="list-style-type: none"> 受取手形、売掛金及び契約資産 +301 棚卸資産 +203 現金及び預金 Δ205
固定資産	7,989	7,992	+2	
資産合計	20,384	20,543	+158	
流動負債	5,244	5,105	Δ139	<ul style="list-style-type: none"> 電子記録債務 Δ42 賞与引当金 Δ29
固定負債	1,547	1,584	+36	
純資産	13,592	13,853	+260	<ul style="list-style-type: none"> 利益剰余金 +339 その他有価証券評価差額金 Δ74
負債・純資産合計	20,384	20,543	+158	
自己資本比率	66.7%	67.4%	+0.7pt	<p>参考(2024年9月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 有利子負債残高 1,500 D/Eレシオ 0.11倍

◆ 連結キャッシュ・フロー

- ✓ 売上債権の増加等により、現金及び同等物は3,676百万円へ増加
- ✓ キャッシュを確保しつつ、中長期的成長を見据えた投資・株主還元を強化

(百万円)

	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	前年同期比	
営業活動による キャッシュ・フロー	704	179	△525 売上債権の増加等
投資活動による キャッシュ・フロー	△184	△ 164	20 有形固定資産の取得による支出等
フリー・キャッシュ・フロー	519	15	△504	
財務活動による キャッシュ・フロー	△259	△ 220	38 配当金の支払や社債の償還による 支出等
現金及び現金同等物	2,870	3,676	+806	



2025年3月期 業績予想



◆ 業績予想 2025年3月期



- ✓ 期初に公表した業績予想から修正なし
- ✓ 中期経営計画のキー戦略に沿った施策を各事業で推し進め、目標を達成する

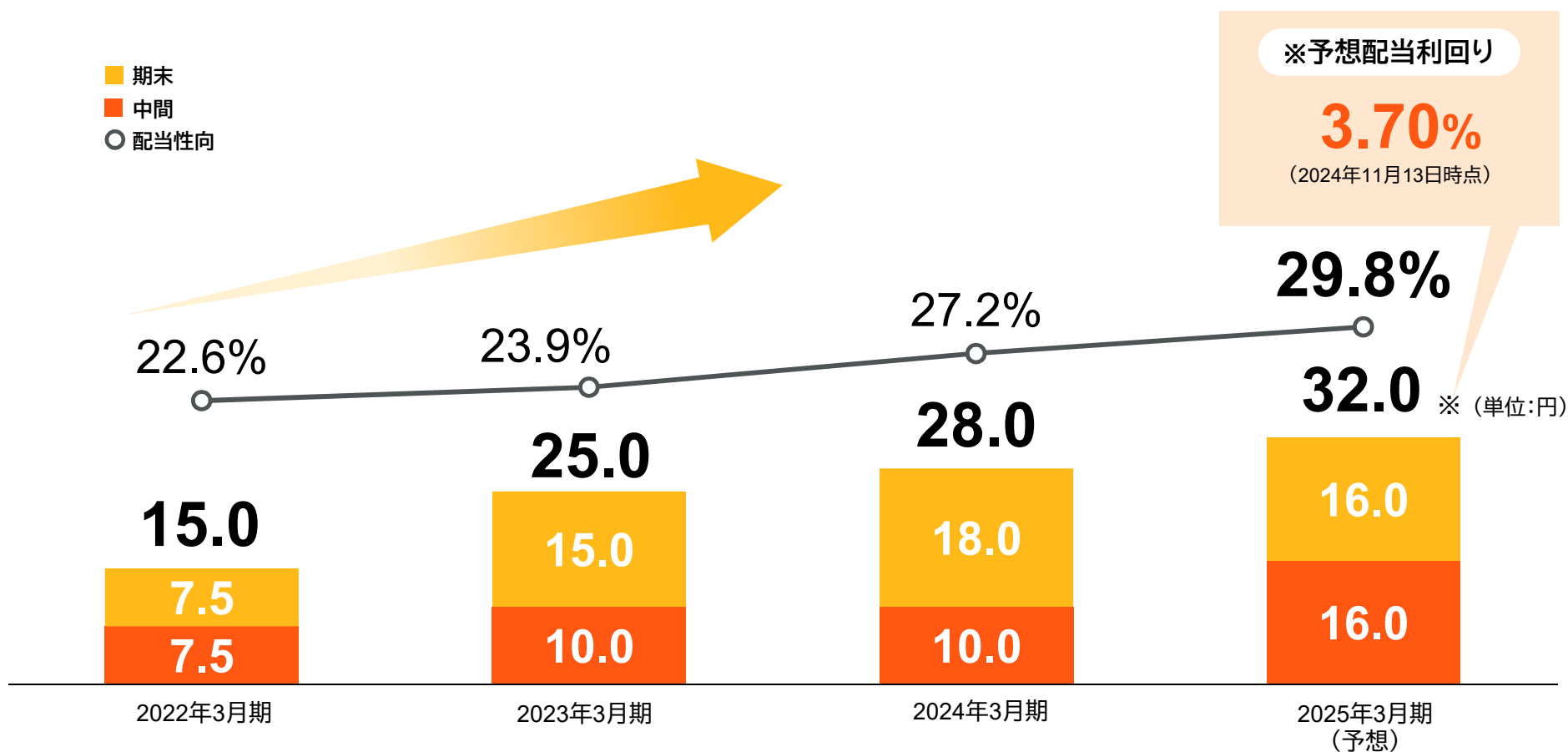
(百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期		前年同期比 (増減額)
		予想	売上比	
売上高	14,159	15,500	—	+9.5% (+1,341)
営業利益	1,352	1,500	9.7%	+10.9% (+148)
経常利益	1,469	1,600	10.3%	+8.9% (+131)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,054	1,100	7.1%	+4.3% (+46)
1株当たり配当金	28.0円※	32.0円	—	+14.3% (+4.0)

※東証スタンダード上場記念配当2円を含む

◆ 株主還元方針

財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保を確保したうえで、配当性向30%を目指して参ります



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。